

2025年2月・3月受け入れ

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室

「姫路城石垣普請の道を辿る」

築城石持道研究会

「決定版日本の名城 28 上田城 龍岡」

日本城郭協会/監

デアゴスティーニ・ジャパン

「決定版日本の名城 29 山形城」

日本城郭協会/監

デアゴスティーニ・ジャパン

「決定版日本の名城 30 岡山城」

日本城郭協会/監

デアゴスティーニ・ジャパン

「日本城郭建築図集（解説付）」

藤岡通夫/監

日本城郭協会

「木工手道具 墨付けと木組みの技法」

大工道具研究会/編

誠文堂新光社

「世界文化遺産で辿る日本の歴史」

熊倉浩靖

雄山閣

「佐賀を動かす」

伊藤昭弘

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

「写真展百年前の鳥取」

鳥取市歴史博物館

「火打石と火打金の文化史」

藤木聡

吉川弘文館

「戦国城郭に秘められた呪いと祈り」

小和田哲男

山川出版社

「龍海院四方山話」

井野修二

「橋の社会文化史」

五味文彦

山川出版社

「復刻版歴史人 保存版特集 日本の城
の基本のき」

ABC アーク

「日本建築史研究」

福山敏夫

墨水書房

「姫路市立動物園開園 40 周年記念誌」 (1991)

姫路市立動物園



今月のおすすめ本紹介！！



「徳川御殿の考古学」

江戸遺跡研究会編 吉川弘文館

江戸時代に徳川将軍家が外出時の宿泊・休憩施設として築いた徳川御殿。上洛のため江戸—京都間に築かれたもの、将軍家の重要な公式行事「日光社参」のため築かれたもの、鷹狩りをはじめとする遊興を目的に築かれたもの等があります。その設置目的には築かれた時期による違いがあるといわれており、現在、残された史料や、発掘調査を基に解明が進められています。本書では、そうした御殿建築に関する調査研究の最前線を知るとともに、全国各地に築かれた徳川御殿の基礎知識を学ぶことができます。

「国宝姫路城 第二期昭和の工事参加記録」

泉 順太郎

著者は姫路城の昭和の大修理において大工として勤務した方で、大天守及び小天守での修理が行われた昭和 32(1957)年から同 39(1964)年までを振り返る内容になります。昭和の大修理に関する記録は、加藤得二工事主任による著書など、技術者が書かれたものが広く伝わる中、本書は大工の視点で書かれた貴重な資料です。昭和の大修理の棟梁である和田道夫さんとのやりとりなど、大工間での交流を知ることができます。その他、姫路城の建築について修理に伴う調査成果とともに簡潔に解説されています。



- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2 階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9:00~12:00 13:00~17:00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物をたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2 階）

TEL 079 (289) 4877

URL <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>